

出題のねらい

【1】は文法力と語彙力を問う問題です。高校の英語教科書で学ぶ基礎的な文法事項や語句が出題されています。【2】は会話文ですが、定型文の知識を問うのではなく、前後の文脈把握、会話のテーマへの理解力に重点を置いた出題となっています。【3】は作文問題ですが、整序形式の出題であり、英文の構造をどれだけ正確に理解しているかが鍵となります。【4】は長文読解問題です。平成29年度入試では色彩と人の感情の関連性を取り上げた記事からの出題です。文脈に応じた適語を選ぶ問題と、全体の内容理解に関する問題から構成されています。

【1】
【解答】 (30点)

1	③	2	②	3	①	4	③	5	④
6	④	7	②	8	①	9	④	10	③

(各3点×10)

【解説】

- 現在完了の継続用法です。ここでは現在完了進行形にはなりません。
- 仮定法過去の用法です。現在の事実と反する仮定を表します。「行けばいいのですが(実際は行けません)」の意ですから、could を選択します。
- 「車の運転方法を教えてくれた」ですから how を選択します。
- if 以下は know の目的語となる名詞節です。「明日、雨が降るかどうか」ですから、未来形の will rain となります。
- to say nothing of: 「～は言うまでもなく」
- feel like ~ing: 「～したい気分です」
- have + 目的語 + 過去分詞で「～してもらった」の意味です。ここでは had her hair cut で「髪を切ってもらった」です。
- whoever is willing to learn in my class (=anyone who is willing to learn in my class) で「私の授業で学びたい人なら誰でも」の意味です。
- what we saw yesterday (昨日私たちが見たもの) と、先行詞を含む関係代名詞 what が正解です。
- どれだけ時間がかかるかを問う文ですから、動詞は take を選びます。

【2】
【解答】 (20点)

11	⑤	12	②	13	⑦	14	④	15	⑥
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---

(各4点×5)

【解説】

- 次の Mika のセリフから就職活動が話題となっていることが分かります。5) の「だから、就職について考えなくてはいけない」が正解です。
- 大学の就職課 (careers office) について知っており、セミナーにも参加したことがあると言っていますから、2) の「就職課についてはもう知っています」が正解となります。
- セミナーの内容について述べています。how to present yourself in an interview に続くものとしては 7) の「何を着ていくか、どのように自己紹介するか」が最も適切な選択肢です。
- 「明日、時間がありますか」という質問に対する答えですから、4) の「はい、明日の午前中なら私もあいてます」が正解です。
- Naomi は英語を使える仕事を希望する旨を述べており、それを受けての応答ですから、6) の「私も英語を使いたい」が正解です。

【3】
【解答】 (15点)

16	③	17	①	(3点)
18	④	19	②	(3点)
20	⑤	21	③	(3点)
22	③	23	①	(3点)
24	③	25	②	(3点)

【解説】

- (16) (17)
I hope this book will be of some help to you.
「この本がいくらかでもお役に立てばと思います。」
be+of some help で「いくらかでも役に立つ」の意味です。be+of+A (A は名詞) で「A の性質を有する」となります。
- (18) (19)
She had her husband paint the wall of the house.
「彼女は夫に家の壁のペンキ塗りをさせました。」
have +A+ 動詞原形で「A に～させる (使役)」となります。

(20) (21)

I was taught English by Mr.Brown five years ago.

「5年前、ブラウンさんに英語を教わった。」

be+ 過去分詞で受動態です。

(22) (23)

Mother told me not to stay up all night long.

「一晩中起きていないようにと母は私に言いました。」

tell+A+to 不定詞(Aに~するよう言う)の文型です。

not が to 不定詞の前に入る点に注意してください。

(24) (25)

I spent what little money I had.

「私は有り金すべてを使いました。」

what+little (few)+A で「全ての A」の意味です。

【4】

【大意】

私たちは色彩に対して敏感です。人間は思っている以上に色彩に影響を受けています。色彩は私たちの生活の全ての面に関わりがあるのです。

色彩言語学 (colorgenics) の専門家によると、身にまとう色彩は私達自身について多くのことを語っているそうです。欲望、感情、要求を伝えるために、無意識のうちに特定の色を服装として選んでいるとこうした専門家は主張しています。

ピンクは心の平穏と満足を表しており、この色を身につける人は温和で思いやりがあると考えられています。一方、赤は肉体的なエネルギーに満ち溢れている状態を示し、この色を着る人は邁進型と言えるでしょう。茶色は富を表す色で、独立と物質面での安定への要求を求めています。緑を着る人は自然への愛を持ち、落ち着いた時間を好みます。一人で思索することが好きな人達です。

色彩と感情の連想は新しいものではありません。“Red with rage” は怒りを表し、“in the pink” は健康であるという意味です。“feeling blue” は悲しい気分、“green with envy” は嫉妬を示します。

すべての文化において、色彩は象徴的な意味を持っており、儀式や祭礼で重要な役割を演じています。ペルーでは黄色は幸運の象徴であり、新年のお祝いではいたるところで黄色を目にします。ベトナムでも黄色は重要な色で、結婚式や国旗に使われ、勇気、勝利、犠牲心を表すとされています。多くの文化で、白は清浄の象徴とされ、それゆえ、結婚式での新婦の衣装の色となっているのです。一方、黒は死を表し、喪服の色として使われます。

色彩言語学の専門家によると、色彩は私たち自身を

映す鏡であるとともに、私たちに影響を及ぼす力も持っているのです。青は気持ちを落ち着かせますが、一方、赤は刺激と興奮へと導きます。レースの車にしばしば赤色がペイントされているのは偶然ではないのです。黄色は幸せの色、ピンクは愛と思いやりを喚起する色です。

色彩は私たちに強い影響を及ぼすゆえに、癒しの目的で利用できると主張する専門家もいます。白は清め の力を持つと言われ、肉体すべてのバランスを保つ力があります。黄色は精神を刺激し、前向きな姿勢を生みだします。気分の落ち込みに対抗する手助けとなりうるわけです。緑には平穏と安らぎの効果があり、心臓の状態に好影響をもたらすと考えられています。色彩と治療との関連を教えてくれる本を読めば、病気とその治療に役立つ色の数多くの例を知ることができるでしょう。

心理学者と医者の中には、感情的、心理的な問題を抱えた患者の治療のために色彩を活用している人たちもいます。色の好き嫌いを見るテストを通して、患者の性格について医者は多くを学ぶことができるのです。

結論を言えば、色彩の研究は私たち自身を知ることにつながり、私たちの生活や人生を豊かにする手助けともなりうるのです。肉体や精神を癒すもうひとつの選択肢であり、他人が何を伝えようとしているかを知る手がかりを与えてくれるものでもあります。

【解答】 (35点)

26	④	27	④	28	①	29	②	30	③
(各3点×5)									
31	①	32	③	33	④	34	⑦	35	⑧
(順不同OK) (各4点×5)									

【解説】

(26) be sensitive to: 「～に敏感である」

(27) 「なぜ特定の色の服を選ぶか知っていますか」の意味ですから、why が適切な選択肢です。

(28) colorgenics は最近の学問分野であるが、感情と色との連想は新しいものではないという意味の文です。ですから、recent が正解です。

(29) ここの空所に入る語は副詞ですから、seldom か often のどちらかです。黒色は人が葬儀の際に頻繁に着用する色であるの意ですから、often が正解です。

(30) 色の研究は自分自身の理解を促し、結果、人生の向上にも役立つの意ですから、improve が正解です。

(31) ~ (35)

第2段落:

Colorgenics experts say that we

subconsciously choose to wear certain colors in order to communicate our desires, emotions, and needs.

第4段落:

associating colors with emotions is not new.

第5段落:

Yellow is a symbol of luck in Peru, and it can be seen just about everywhere during New Year celebrations - in flowers, clothing, and decorations.

第7段落:

Books are now available that teach people how to heal with color. These books provide long lists of ailments and the colors that can heal them.

第8段落:

By giving patients what is called the Luscher color test, in which they select the colors they like and dislike, doctors can learn many things about patients' personalities.

以上の箇所から、選択肢①③④⑦⑧が正解です。